

■ 2025・4 「社会貢献活動 2025 年度活動計画（案）（全体版）」を掲載します

4 月の

社会貢献活動の

お知らせ

4 月は、第 36 回放送大学神奈川同窓会通常総会資料・第 4 号議案—2 の「社会貢献活動 2025 年度活動計画（案）（全体版）」を掲載します。

なお、総会資料として「社会貢献活動 2025 年度活動計画（案）（概要版）」を別途に 4/22 付けて郵送しています。紙資料の経費削減のため、全体版を『波濤 Web』に掲載します。ご理解ください。

投稿日 2025 年 4 月 22 日

投稿者 理事・社会貢献活動担当 田代和嘉 ・ 佐々本幹夫

社会貢献活動 2025 年度活動計画（案）（全体版）

（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

I 社会貢献活動計画アウトカム

(I) 2025 年度より、社会貢献活動の名称を統一します。

「プラン活動」「あしなが育英会活動」を 1 つにして、活動名を「社会貢献活動」とします。

「プラン担当」「あしなが育英会担当」を 1 つにして、職名を「社会貢献活動担当」とします。

「プラン活動」「プラン寄付活動」を 1 つにして、活動名を「就学困難児対策プラン寄付活動」とします。

活動名を揃えるにあたり、「会則七 社会貢献活動 ①プラン・ジャパン活動 ②あしなが育英会 ③その

他」を「会則七 社会貢献活動」に改定をお願いします。

会則を改定するに伴い、『波濤 Web』メインメニューの「社会貢献」を「社会貢献活動」に改訂をお願いします。さらに、「社会貢献」のローカルメニューにある「プランジャパン」および「あしなが育英会と放送大学叢書販売」の2つは削除して、メインメニューの「社会貢献活動」のみに改訂をお願いします。

- (2) **新しい社会貢献活動の姿を、「お金をかけず・誰でも・いつでも参加できる」とし、「同窓会の皆さんが活動に参加したくなるように」、「私たちが活動したいこと」を「(今月の)社会貢献活動のお知らせ」として、『波濤 Web』にて発信し続けます。**

「同窓会員と社会貢献活動の距離を縮める」ことを、2025 年度活動計画のアウトカム(意図して生み出された成果)とします。

「(今月の)社会貢献活動のお知らせ」の読者像を、「社会貢献になんとか興味がある人」、そして、リアルな投稿(1次情報)に触れてもらって、「私も社会貢献をやってみたいと思う人」に絞り、対象は反対に、同窓会員に限定することなく、神奈川 SC 所属の在学生、地域の一般の皆さんにも広げます。

- (3) **「距離を縮める」成果を生み出すため、コミュニケーションによる「5つのつながり」に取り組みます。**

- a 1 つめは、『波濤 Web』で、つながりましょう
- b 2 つめは、毎月、「投稿」で、つながりましょう
- c 3 つめは、あなたの「活動」で、つながりましょう
- d 4 つめは、あなたの見つけた「問題」で、つながりましょう
- e 5 つめは、「目的と結果」で、つながりましょう

投稿は、氏名などの個人情報とは外して、原則として『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページにて公開します。詳しくは、『波濤 Web』の「2025・I 新しい社会貢献活動5つの運営ポイントを呼びかけました」をご覧ください。

2 就学困難児対策プラン寄付活動計画アウトプット

- (1) **「就学困難児対策プラン寄付活動」を、社会貢献活動の第 I の柱にかかげ、2025年度活動計画のアウトプット(取り組んだ成果)の 1 つめとします。**

「ご支援の方法」は 変えずに取り組みます。

なお、運営コスト削減のため、従来郵便払い込みで送金して頂いた方には、はがきでお礼状をお送りしていましたが、2025年度から、寄付者数と寄付額のみ「(今月の)社会貢献活動のお知らせ」に掲載します。ご理解をお願いします。

- (2) **2024 年度の実績分析結果を受け、より成果が上がるよう公益財団法人「プラン・インターナショナル・ジャパン」と話し合います。**

短絡的に、今のプラン寄付活動のチャイルド支援国をすぐに変える意味ではありません。ご安心ください。

- (3) **「就学困難児対策プラン寄付活動」において寄付をしていただいた方からの投稿を呼びかけます。**

2025 年度は、寄付をしていただいた方からの投稿があること、投稿者が増えることに専念します。イベントなどは、アウトカム(意図して生み出された成果)が出始めてから考えます。ご理解ください。

3 地域貢献対策活動計画アウトプット

- (1) **「地域貢献対策」を社会貢献活動の第2の柱にかかげ、2025年度活動計画のアウトプット(取り組んだ成果)の2つめとします。**

- (2) **放送大学と地域貢献の橋渡し役として「地域貢献対策」をしている方からの投稿を呼びかけます。**

2025 年度は、地域貢献対策をしている方からの投稿があること、投稿者が増えることに専念します。イベントなどは、アウトカム(意図して生み出された成果)が出始めてから考えます。ご理解ください。

- (3) **「地域貢献対策」のサブテーマは、「国際協力・文化・経済支援対策」「町内会・コミュニティ支援対策」「福祉・子ども・高齢者支援対策」「環境・生物・災害支援対策」「人権・その他支援対策」の5つですが、2025年度は「地域貢献対策」1つで扱います。**

- (4) **従来取り組んできた「あしなが育英会寄付活動」は、社会貢献活動としての組織活動から、個人の意思による活動にシフトします。**

組織活動から個人活動へシフトする理由は、コース(Cause)マーケティングとして、左右社の「放送大学叢書」販売と一般社団法人「あしなが育英会」への寄付活動を結びつける手法ですが、あまりにも時間や労力、コストがかかりすぎるためです。

なお、放送大学学生は、出版社の左右社から直接購入した場合、定価（税込価格）の 1 割引となるうえ送料無料で届けられますので、個人の意思で、寄付活動（一般社団法人「あしなが育英会」では、個人は 500 円以上から寄付を受け付けています）のための貯金とすることは可能です。

4 個人でできる気候変動対策活動計画アウトプット

- (1) 「個人でできる気候変動対策」を社会貢献活動の第 3 の柱に掲げ、2025 年度活動計画のアウトプット（取り組んだ成果）の 3 つめとします。
- (2) 放送大学の進める地域貢献活動や SDGs 活動に添えて、「個人でできる気候変動対策」をしている方の投稿を呼びかけます。

2025 年度は、個人でできる気候変動対策をしている方からの投稿があること、投稿者が増えることに専念します。イベントなどは、アウトカム（意図して生み出された成果）が出始めてから考えます。ご理解ください。

5 「来年度やりたいこと予告」活動計画アウトプット

「来年度やりたいこと予告」を、2025 年度活動計画のアウトプット（取り組んだ成果）の 4 つめとします。

「来年度やりたいこと予告」を、本年度活動計画に入れることで、今から「お楽しみ」を予告します。担当者は、今から「イベント・活動・運営・人事」を予告し、その準備を始めます。

「2026 年度やりたいこと予告」は、2025 年度スタート時点では、調整がつかないため、特にありません。

2026 年度やりたいこと予告のうち、イベントなどは、アウトカム（意図して生み出された成果）が出始めてから考えます。ご理解ください。

6 その他の活動計画アウトプット

各種書き損じはがきのご寄付、外貨コイン・紙幣の収集、放送大学オリジナルバッジ（まなびー・大学徽章）の販売は、2025 年度も行い、2025 年度活動計画のアウトプット（取り組んだ成果）の 5 つめとします。

ただし、対応は、対面日に活動の同窓会役員の皆さんにお願いします。社会貢献活動担当者とは限りません。領収書の発行はいたしません。ご理解ください。

7 社会貢献活動インパクト

同窓会員の皆さんと、神奈川 SC 所属の在学生の皆さんと、さらに、地域の一般の皆さんと、「信頼を深める」ことを、2025年度活動計画のインパクト(影響を与えた成果)とします。

同窓会員はもちろん、神奈川 SC 所属の在学生、地域の一般の皆さんにも、投稿を呼びかけます。

「高齢者世代(65 歳以上)」「X 世代(45 歳~64 歳)」「Y 世代(30 歳~44 歳)」「Z 世代(13 歳~29 歳)」の皆さんが、世代特有の経験やスキルを活かして、かつ、尊敬しあって参画できる社会貢献活動にしたいと考えています。